

### 1. 背景・目的

- 居住人口の減少による市街地の空洞化や高齢化が進みまちとしての求心力が失われる中で、地域経済の活性化が求められている。
- 温浴施設など他の観光資源の活用や交流人口の拡大、財源の確保等が課題となっている。
- キャンプ場の収益性向上を含む河川空間を活用したさらなる賑わいづくりや町の活性化を図るため、官民の対話の促進や事業実現に向けた取組の推進を目的とする。



笠置キャンプ場

### 2. 事業概要

- 地域プラットフォームを設立し、PPP/PFIの知識やノウハウを共有するほか事業化に向けた地域の合意形成を図る。
- 河川のオープン化を契機とした笠置キャンプ場への指定管理者制度の導入や、温浴施設など観光資源との一体管理に向けた取組を推進する。
- キャンプ場運営における事業手法や役割分担等を検討。施設の要求水準など案件形成にあたって必要となる要件を整理し、事業化を目指す。

### 3. 地域プラットフォームの取組概要

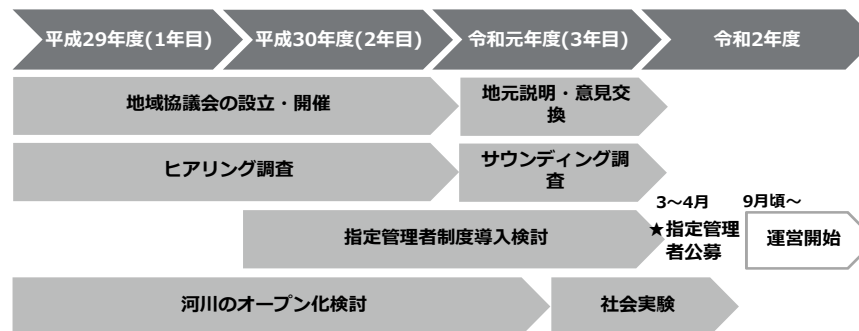
- ①地域協議会(わかさぎ地域プラットフォーム)の設立・開催  
地域プラットフォームを形成し、笠置町の現状やまちづくりの方向性、民間事業者ヒアリング調査結果の共有を行ったほか、民間事業者と地元関係者との対話を実施。(参加者:笠置町、町議会議員、関係課職員、京都府、笠置まちづくり会社、大学、金融機関等)
- ②民間事業者へのヒアリング調査の実施(17社)  
民間事業者の参画可能性や温浴施設への参入意向を把握するとともに、キャンプ場の指定管理者候補等に対して個別対話を継続的に実施。
- ③サウンディング型市場調査の実施(3社)  
サウンディング型市場調査及び現地視察を実施し、キャンプ場など既存施設の改善を含めた活用のあり方や観光資源との連携における課題等を把握。

日時	令和元年5月31日
場所	笠置いこいの館
参加者	アウトドア事業者、コンサルティング、地元企業等
内容	・笠置いこいの館、キャンプ場等の活用について ・地域貢献について ・観光資源の活用にあたっての課題等

### ④事業者公募に向けた事業スキームの策定

笠置キャンプ場の事業者選定に向けて、事業スキームなど公募要綱を策定するほか、河川空間での社会実験などオープン化に向けた取組を実施。

#### プラットフォームでの主な取組



### 4. 取組成果

#### (1) 効果的な官民連携スキームの構築

民間事業者が求める施設整備のあり方を把握するなど、案件形成に向けた課題を明らかにするとともに、キャンプ場における利用料金制の導入や柔軟な料金体系の設定など地域で資金が循環できる仕組みを策定した。

#### (2) 事業者選定にともなう公募要綱等の作成

事業手法や役割分担等を整理し、指定管理者制度の導入に向けた条例制定や公募要綱等を作成。令和2年度の事業者選定に向けたスケジュール等が確定した。

### 5. 今後の活動計画

#### (1) キャンプ場事業者の公募および選定

次年度の事業者選定に向けて、キャンプ場の公募(令和2年3月～4月)を実施。指定管理者制度の導入により9月頃の運営開始を目指す。

#### (2) 温浴施設など観光資源との連携強化

温浴施設における活用方針を定め、キャンプ場との一体管理を実現する。

#### (3) 河川空間のオープン化に向けた社会実験等の実施

事業者候補等との社会実験の実施し、令和2年度における河川空間のオープン化を実現する。